



とまさのきし
岸野雅人

問 湯沢町の封筒には、文化的にも商業的にも、国内外に名が通る、小説「雪国」に関するものが望ましいと思うが。

答 小説「雪国」を文化面・観光面から大切にしていきたい。

防災に対する町長の姿勢を問う

問 町民と来訪者の人命を守るには、『情報伝達』と『避難訓練』が必要。昨年9月議会の答弁は「日頃の避難訓練は必要」、「状況を…県に伝え、早く対応し…」だった。実際の対応は。また、南魚沼市のハザードマップは、実被害と比較してどうであったか。

答 ハザードマップは、県が見直し調査・追加指定中。県が南魚沼市の再調査を行う予定。結果は議会にも町民の皆さんにもお知らせする。

問 湯沢町は「防災情報を収集し、住民に対して周知できる」態勢ではない。観光の町なのに、『サイレン』が主力。防災

総務省資料より
(平成23年3月末現在)
全国 1,750 市町村中、防災情報が整備されている市町村
◆ 音声を送信できる同報系 76.3%の 1,335 市町村
◆ 音声を送信できる移動系 83.2%の 1,457 市町村

情報整備のスケジュールを示せ。

答 緊急速報メールサービス、ジェイ・アラートとNTTドコモエリアメールの連携、ソフトバンク、AUとも連携を申請中。携帯用『防災行政無線』を、遠隔12町内に配布。サイレン利用の、緊急放送が可能か検討中。

問 「日頃の避難訓練」はどのような計画で、いつ実施か。

答 5年毎の防災訓練。春期消防演習で各地区順番に実施。

問 避難誘導の情報伝達に、直ちに着手出来ないなら、民間を交えた『防災ワーキングチーム』を立ち上げ、『防災無線』と『避難訓練』を検討し始めては。

答 自主防災組織の充実を図る。町内会で組織率を上げ、避難訓練も自主防災組織で。

問 庁舎の耐震補強をし、外部との連絡ができて、町民とお客様に「逃げる」と言えないのはおかしいが。

答 言われる事は精査して対応するよう頑張る。

折角の工事、納税者（地元事業者）を大切に！

問 『協働』の教育を目指す学び舎づくりも『協働』であるべき。昨年12月、この工事と入札に関し、執行部と議会に要望書が提出されている。湯沢町の事業者が受注した場合の経済効果をどう考えるか。

答 多くの町内業者が関わって、消費の拡大・就業の拡大など、資金の循環が経済活性化に繋がれば良い。町内業者を保護する措置はとっている。

問 設計は巨額ですが、施工の難易度は高くなく、ほとんど町内業者による施工が可能と思いますが、いかがか。

答 長期の工事で総額も大きいので、特定共同企業体方式での分離発注を考えている。

湯沢の業者だけだと、実績が無い、競争原理が働かない、契約補償の関係もある。実作業は、誰が請けても同じような事をするとと思われる。

問 下請け・孫請けでは厳しいが。

答 そんな場合、元請け業者に働きかける。

問 履行補償割合は。

答 履行補償は30%。

問 三条市の小中一体校工事は、九つの工事だった。湯沢町は、どうするのか。

答 メリット、デメリットを考慮して検討。

問 入札参加の資格要件など、地元事業者にとどのような配慮をするのか。

答 町内事業者のランクは指定しない。折角造る建物、皆さんの参加を願いたい。

問 まさに折角の工事。「折角の饅頭をよその業者にかじって貰ってから…」は、おかしいと思うが、どうか。

答 言われる通りだ。真剣に取り組みます、ご安心下さい。

